

ごあいさつ



校長 福岡憲助



副会長 江尻三千代



会長 大西 壬

東高には生徒歌があることをご存じでしょうか。現在ではその存在すら忘れられていますが、生徒手帳には今でも校歌・応援歌と並んで掲載されています。生徒歌は校歌の3年後、応援歌の1年前、昭和26年2月に生徒から歌詞を公募して作られました。歌詞は3番で構成され、それぞれ

「ここで学びてうるわしき、
…我等の望み世に遂げん」
「ここで学びてきよらけき、
…我等の誇り世に遂げん」
「ここに学びて青春の、
…我等の意気を世に遂げん」
で終わっています。

「うるわしき」人間関係のもと、「きよらけき」心を基調に、将来にわたって連綿と続く東高生としての気概を「望み」、「誇り」、「意気」という言葉で表白しています。戦後日本の復興を担う若者のたくましさを感じます。生徒歌は在校生のみならず卒業生の皆様にも熱きメッセージを投げかけ続けています。

東生会の皆様には百周年記念事業として百周年記念館建設、育英基金拡充等に多大なるお力添えをいただいております。改めて感謝申し上げますとともに、東生会の発展と皆様のご健勝とご多幸を祈念し挨拶とさせていただきます。

年が変わり、いよいよ母校創立百周年記念の幕開けとなりました。

県女の皆様には、百才を優に超えられた先輩から後輩まで、記念事業への暖かい拠金をありがとうございます。二度、三度と重ねて、或いは一部の期からも、或いは故人を偲んでご遺族や同期生からも拠出いただき、感謝で一杯です。

また本紙にご紹介の振角白鷺様（県女29期）よりご拠金並びに「百周年記念奨学基金」設立のご寄付をいただき、「加藤澄子（県女30期）奨学基金」、「亀山ひろゑ（県女12期）文庫」等と共に、在校生への大きな贈り物であり、心からの御礼を申し上げます。

時恰も深刻な経済情勢下ですが、若手会員の方々も集会を重ねられ、目的遂行のため「一万人大行進」を展開されていますし、私共も記念バッジを胸に一人ひとりの「声掛け運動」を精一杯進めております。

今こそ手を取りあって、東生会の意気を示そうではありませんか。今後共よろしくご協力をお願い致します。

かつて経験したことのない経済危機で、世界が大きく変わろうとしている厳しい折ですが、東生会の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

平素は当会に様々なご支援を賜り有り難くお礼申し上げます。平成18年度第16回東生会総会で決議された創立百周年記念事業への参画は、その後各期常任幹事会を経て、実行委員会及び各専門委員会が組織され、着々と準備がすすめられ、本年11月3日に記念式典を挙げる運びとなりました。さらに、この記念式典までにも多彩な記念行事が計画されております。次の百年に向けて更なる母校の発展を祈念して、これらの行事が盛大に開かれることを願っております。

また記念事業募金活動につきましては、「一万人による寄附、二億円」を目標に進めて参りました。ご厚志をいただいた多くの皆様に感謝申し上げますとともに、目標達成へ今一歩のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げますと共に、母校発展のために今後ともご協力をお願い申し上げます。